

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2519 号

Clinical Significance of Tumor Markers for Advanced Thymic Carcinoma: A Retrospective Analysis from the NEJ023 Study

進行胸腺癌における腫瘍マーカーの臨床的有用性：NEJ023 試験の後方視的解析

三森 友靖 (みもり ともやす)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、進行期胸腺癌における腫瘍マーカーの有用性を初めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。本研究では進行期の胸腺癌患者を対象に腫瘍マーカーの有用性等を後向きに検討する多施設共同試験 (NEJ023 試験) を実施し解析を行っている。腫瘍マーカーと OS との相関において NSE 値高値群は NSE 正常値群と比較して、有意に OS が短かった (中央値、20.3 か月 vs 36.8 か月、log-rank test  $p = 0.029$ )。PFS についても同様の傾向が認められた (中央値、6.4 か月 vs 11.0 か月、log-rank test  $p = 0.001$ )。また、多変量解析において、NSE は OS (ハザード比 (HR), 1.67 [95%信頼区間 (CI), 1.02~2.73],  $p = 0.042$  (Cox 比例ハザードモデル)) 及び PFS (HR, 2.24 [95%CI, 1.11~4.50],  $p = 0.024$ ) と有意な相関が認められた。一方、他の腫瘍マーカーでは有意な相関は認められなかった。胸腺癌の中で最も多い組織型である扁平上皮癌に限定した解析を行った場合でも単変量解析及び多変量解析においても、NSE 値は OS 及び PFS に有意な相関が認められた。NSE 値は組織型に関係なく、胸腺癌の予後予測マーカーであることが示唆されている。

これまでに進行期胸腺癌に関する有用な腫瘍マーカーについての報告はなく、当該研究は意義のあるものと考えられた。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。